

第 1 回岡崎市都市計画マスタープラン住民説明会（矢作地区） 議事要旨

日時	令和元年 10 月 27 日(日)10:00～11:00
場所	西部地域交流センター・やはざかん ホール
参加者	6 名

1 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2 あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3 岡崎市都市計画マスタープラン（全体構想まで）に関する説明

4 質疑応答

質問者 1	・何年も前から名鉄の踏切に対して歩道の設置を要望している。事業の進捗についてどこまで把握しているか。
岡崎市	・個別の踏切の事業の進捗状況は都市計画課として把握していない。しかし、踏切に対する対応については、都市計画マスタープランの全体構想の中でキーワードとして取り入れている。
質問者 2	・最近の大雨の報道を見ていると、矢作川が決壊しないか心配になる。特に矢作橋西側のふもとの地域は土地が低いため、高台に災害用トイレや防災倉庫などの防災施設の充実を図ることにより待避所として整備していただきたい。
岡崎市	・意見を防災課に伝える。都市計画マスタープランの中でも防災に関する取り込みとして、資料 P. 4 で「安全安心に暮らせる都市」という都市像を掲げており、資料 P. 6 の河川・上下水道の基本方針では「治水・浸水対策の強化」と掲げている。また、ハード対策だけでは防ぎきれない災害が発生するのは明らかであるため、そういった観点を踏まえながら今後も防災について取り組んでいく。
質問者 3	・次回の 1 月の説明会では、もう少し具体的な事業について説明があるのか。
岡崎市	・現行の都市計画マスタープランでは地域ごとに色塗りをしており、その中で今後やっていく事業や土地利用のゾーニングといったものを示している。その中で、道路や河川の整備について、今後 10 年間で事業していくものについて都市計画マスタープランに位置づけている。
	・次回は地域別構想案について説明するため、防災倉庫を設置するのかといった具体的な事業の説明は示すことはできない。都市計画マスタープランは市全体もしくは地域別の防災の方向性を示すものである。
質問者 3	・都市計画マスタープランの説明会というのは分かるが、市民としてはより具体的な事業について知りたい。

岡崎市	・ 防災課に意見として伝える。
質問者 3	・ 市街地中心地に優先して施策を行っているのに、中心部の人口が減少している原因は何か。
岡崎市	・ 資料 P. 2 の人口に関するモザイク図は社会移動を考慮せず、現在住んでいる人が 2040 年どうなるかといったことを示している。将来このようにならないために、岡崎市は今後施策を取り組んでいかなければならないといった意味で図を載せている。
質問者 3	・ 分かりやすい資料としていただきたい。

5 閉会

以上